



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月7日

上場会社名 アニコム ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8715 URL <https://www.anicom.co.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)小森 伸昭  
問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 部長 (氏名)高野 宏行 (TEL) 03(5348)3911  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	44,936	6.9	3,276	21.4	2,041	22.0
2023年3月期第3四半期	42,046	6.1	2,699	8.5	1,673	△12.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,110百万円 ( 334.5%) 2023年3月期第3四半期 485百万円 ( △74.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	25.39	—
2023年3月期第3四半期	20.60	—

(参考) のれん償却前経常利益(経常利益+のれん償却額)

2024年3月期第3四半期 3,427百万円 2023年3月期第3四半期 2,863百万円

のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2024年3月期第3四半期 2,193百万円 2023年3月期第3四半期 1,837百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	63,043	28,969	46.0
2023年3月期	61,407	28,184	45.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 28,969百万円 2023年3月期 28,184百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				5.50	5.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	6.1	4,000	8.5	2,500	9.4	30.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	81,309,160株	2023年3月期	81,309,160株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,628,636株	2023年3月期	61,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	80,407,006株	2023年3月期3Q	81,251,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の記述について）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 2024年3月期 第3四半期損益状況	12
(2) 経常収益の状況	13
(3) 種目別保険料・保険金	14
(4) 有価証券関係	15
(5) ソルベンシー・マージン比率	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴い、国内における行動制限や海外からの入国制限の緩和等による社会環境の正常化が進み、景気に緩やかな回復基調が見られました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や不安定な世界情勢、エネルギー・資源価格の高騰、円安の長期化、継続的な物価上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このようななか、当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社の重点施策と位置付けている「ペット保険の更なる収益力向上」に向け、販売チャネルの営業活動強化などに注力したことに加え、堅調なペット飼育需要が継続していることにより、保有契約数は1,172,819件（前期末から59,675件の増加・同5.4%増）と、順調に増加しております。また、E/I損害率<sup>注1)</sup>については、新型コロナウイルスの影響が飼い主行動に与える変化の影響も出尽くし、安定化してきましたが、60.7%と前年同期比で0.9pt上昇いたしました。既経過保険料ベース事業費率<sup>注2)</sup>は、規模拡大に向けた積極投資や「どうぶつ健活」（腸内フローラ測定+健康診断）の申込数の増加などを踏まえても、33.4%と前年同期比で1.7pt改善いたしました。この結果、両者を合算したコンバインド・レシオ（既経過保険料ベース）は前年同期比で0.8pt改善し94.1%となりました。

また、当社グループでは、第二期創業期の歩みを更に加速させる取組みを推進しており、あらゆるデータから、病気・ケガを分析し、「健康度」を見る予防型保険会社グループへ成長するため、新規事業の重点施策に対する取組みを加速させております。遺伝子検査事業については、避けられる遺伝病を親と子の遺伝子検査によって回避し、更に科学・技術・データに医療のサポートを加えたブリーディング支援に繋げていきます。加えて、「どうぶつ健活」によるどうぶつの健康チェックの普及、共生細菌をキーにしたフード開発・販売、生活習慣コンサル等の事業化を進めております。更に、どうぶつ医療における高度先進医療（細胞治療、再生医療）を実用化し、拡大を図るとともに、カルテ管理システム事業の拡大（予約システム等の機能の充実）等とあわせ、データの更なる活用による予防法の開発、ペット関連事業の海外展開を目指しております。

以上の結果、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

保険引受収益40,270百万円（前年同四半期比6.6%増）、資産運用収益569百万円（同21.3%増）、新規事業等を含むその他経常収益4,096百万円（同8.0%増）を合計した経常収益は44,936百万円（同6.9%増）となりました。一方、保険引受費用28,381百万円（同7.1%増）、営業費及び一般管理費11,823百万円（同2.5%増）などを合計した経常費用は41,660百万円（同5.9%増）となりました。この結果、経常利益は3,276百万円（同21.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,041百万円（同22.0%増）となりました。

注1) E/I損害率：発生ベースでの損害率。

（正味支払保険金+支払備金増減額+損害調査費）÷既経過保険料にて算出。

注2) 既経過保険料ベース事業費率：発生ベースの保険料（既経過保険料）に対する発生ベースの事業費率。

損保事業費÷既経過保険料にて算出。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,635百万円増加して63,043百万円となりました。その主な要因は、有価証券の増加12,165百万円であります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ850百万円増加して34,073百万円となりました。その主な要因は、保険契約の増加に伴う保険契約準備金の増加870百万円であります。なお、金融機関等からの借入金はありません。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ785百万円増加して28,969百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,041百万円の計上によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、保有契約の順調な増加により、責任準備金の増加額が578百万円となったこと等により3,733百万円の収入となり、前第3四半期連結累計期間に比べると1,161百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、12,784百万円の支出となりました。主に有価証券の取得による支出であり、前第3四半期連結累計期間に比べると8,773百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間では210百万円の支出、当第3四半期連結累計期間では自己株式の取得等により1,341百万円の支出となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より10,392百万円減少し、17,443百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想のうち、連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表致しました決算短信中の「2024年3月期の連結業績予想」をご参照ください。なお、今後の業績推移により修正の必要が生じた場合には速やかに公表致します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	30,835	21,443
有価証券	16,956	29,122
貸付金	3	19
有形固定資産	2,557	2,256
無形固定資産	3,242	3,093
その他資産	6,504	6,222
未収金	3,296	3,147
未収保険料	628	671
仮払金	849	817
その他の資産	1,730	1,586
繰延税金資産	1,315	895
貸倒引当金	△8	△9
資産の部合計	61,407	63,043
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	22,853	23,724
支払備金	2,988	3,280
責任準備金	19,865	20,444
社債	5,000	5,000
その他負債	4,945	5,049
賞与引当金	304	159
特別法上の準備金	119	140
価格変動準備金	119	140
負債の部合計	33,223	34,073
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,202	8,202
資本剰余金	8,092	8,092
利益剰余金	13,446	15,162
自己株式	△1	△1,001
株主資本合計	29,740	30,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,555	△1,487
その他の包括利益累計額合計	△1,555	△1,487
純資産の部合計	28,184	28,969
負債及び純資産の部合計	61,407	63,043

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
経常収益	42,046	44,936
保険引受収益	37,782	40,270
(うち正味収入保険料)	37,782	40,270
資産運用収益	469	569
(うち利息及び配当金収入)	336	450
(うち有価証券売却益)	130	117
その他経常収益	3,794	4,096
経常費用	39,347	41,660
保険引受費用	26,501	28,381
(うち正味支払保険金)	20,930	22,843
(うち損害調査費)	840	841
(うち諸手数料及び集金費)	3,781	3,825
(うち支払備金繰入額)	356	291
(うち責任準備金繰入額)	593	578
資産運用費用	0	2
(うち有価証券評価損)	0	2
営業費及び一般管理費	11,538	11,823
その他経常費用	1,307	1,454
(うち支払利息)	11	11
経常利益	2,699	3,276
特別利益	-	49
固定資産処分益	-	49
特別損失	71	57
固定資産処分損	31	36
特別法上の準備金繰入額	16	20
価格変動準備金繰入額	16	20
その他	23	0
税金等調整前四半期純利益	2,627	3,267
法人税及び住民税等	678	832
法人税等調整額	275	393
法人税等合計	954	1,225
四半期純利益	1,673	2,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,673	2,041

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,673	2,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,188	68
その他の包括利益合計	△1,188	68
四半期包括利益	485	2,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	485	2,110
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,627	3,267
減価償却費	562	552
のれん償却額	164	151
支払備金の増減額 (△は減少)	356	291
責任準備金の増減額 (△は減少)	593	578
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△117	△144
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	16	20
利息及び配当金収入	△336	△450
有価証券関係損益 (△は益)	△133	△117
持分法による投資損益 (△は益)	△37	△53
株式報酬費用	16	3
支払利息	11	11
有形固定資産関係損益 (△は益)	31	△12
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額 (△は増加)	△812	△225
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額 (△は減少)	438	427
小計	3,355	4,301
利息及び配当金の受取額	346	455
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額	△1,122	△1,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,572	3,733
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預貯金の純増減額 (△は増加)	400	△1,000
有価証券の取得による支出	△5,218	△15,316
有価証券の売却・償還による収入	1,518	3,706
資産運用活動計	△3,299	△12,609
営業活動及び資産運用活動計	△726	△8,875
有形固定資産の取得による支出	△358	△219
有形固定資産の売却による収入	-	297
無形固定資産の取得による支出	△318	△381
その他	△35	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,011	△12,784
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△7	△6
配当金の支払額	△203	△324
自己株式の取得による支出	-	△1,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210	△1,341
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,649	△10,392
現金及び現金同等物の期首残高	27,691	27,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,042	17,443

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額(注) 2
	損害保険事業	ペット向け インターネット サービス事業	計				
外部顧客への経常収益	38,261	1,319	39,580	2,466	42,046	—	42,046
セグメント間の内部 経常収益又は振替高	197	87	285	203	489	△489	—
計	38,458	1,406	39,865	2,670	42,535	△489	42,046
セグメント利益又は 損失(△)	3,257	△66	3,191	△491	2,699	—	2,699
(参考) のれん償却前セグメント利 益又は損失(△)	3,257	33	3,291	△428	2,863	—	2,863

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、動物病院支援事業、動物医療分野における臨床・研究事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

(単位：百万円)

	損害保険事業	ペット向けイン ターネットサー ビス事業	その他	全社・消去	合計
当四半期償却額	—	100	63	—	164
当四半期末残高	—	1,638	451	—	2,089

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額(注) 2
	損害保険事業	ペット向け インターネット サービス 事業	計				
外部顧客への経常収益	40,853	1,477	42,330	2,605	44,936	—	44,936
セグメント間の内部 経常収益又は振替高	210	218	428	158	587	△587	—
計	41,063	1,695	42,758	2,764	45,523	△587	44,936
セグメント利益又は 損失(△)	3,696	91	3,787	△511	3,276	—	3,276
(参考) のれん償却前セグメント利 益又は損失(△)	3,696	191	3,887	△460	3,427	—	3,427

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、動物病院支援事業、動物医療分野における臨床・研究事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

(単位：百万円)

	損害保険事業	ペット向けイン ターネットサー ビス 事業	その他	全社・消去	合計
当四半期償却額	—	100	51	—	151
当四半期末残高	—	1,504	382	—	1,887

(重要な後発事象)

(持分法適用関連会社株式の譲渡)

当社は、2024年1月26日開催の取締役会において、持分法適用関連会社である株式会社AHBの当社が保有する全株式について譲渡することを決議いたしました。

詳細につきましては、2024年1月26日付適時開示「持分法適用関連会社株式の譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 補足情報

#### (1) 2024年3月期 第3四半期損益状況

(単位：百万円)

区分		前第3四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	比較増減	増減率 (%)
経常 損益	保険引受収益	37,782	40,270	2,487	6.6
	(うち正味収入保険料)	(37,782)	(40,270)	(2,487)	(6.6)
	保険引受費用	26,501	28,381	1,879	7.1
	(うち正味支払保険金)	(20,930)	(22,843)	(1,913)	(9.1)
	(うち損害調査費)	(840)	(841)	(0)	(0.1)
	(うち諸手数料及び集金費)	(3,781)	(3,825)	(44)	(1.2)
	(うち支払備金繰入額)	(356)	(291)	(△64)	(△18.0)
	(うち責任準備金繰入額)	(593)	(578)	(△14)	(△2.5)
	資産運用収益	469	569	100	21.3
	(うち利息及び配当金収入)	(336)	(450)	(113)	(33.8)
	(うち有価証券売却益)	(130)	(117)	(△13)	(△10.2)
	資産運用費用	0	2	1	—
	営業費及び一般管理費	11,538	11,823	285	2.5
その他経常損益	2,486	2,642	155	6.3	
経常利益	2,699	3,276	576	21.4	
特別 損益	特別利益	—	49	49	—
	特別損失	71	57	△13	△19.5
	特別損益	△71	△8	63	△88.0
税金等調整前四半期純利益		2,627	3,267	639	24.3
法人税及び住民税等		678	832	153	22.6
法人税等調整額		275	393	118	43.1
法人税等合計		954	1,225	271	28.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益		1,673	2,041	367	22.0

(2) 経常収益の状況

経常収益をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	対前年 同四半期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
損害保険事業(ペット保険)	38,261	40,853	6.8
損害保険(アニコム損害保険㈱)	38,261	40,853	6.8
(うち正味収入保険料)	37,782	40,270	6.6
ペット向けインターネットサービス事業	1,319	1,477	12.0
その他の事業	2,466	2,605	5.7
動物病院支援	226	245	8.5
保険代理店	13	10	△21.6
動物医療分野における臨床・研究	1,414	1,525	7.8
遺伝子検査等	316	245	△22.5
その他	494	578	16.9
合計	42,046	44,936	6.9

### (3) 種目別保険料・保険金

アニコム損害保険株式会社における保険引受の実績は以下のとおりであります。

#### ① 元受正味保険料(含む収入積立保険料)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同四半 期増減(△) 率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同四半 期増減(△) 率(%)
ペット保険	37,782	100.0	7.5	40,270	100.0	6.6
合計	37,782	100.0	7.5	40,270	100.0	6.6
(うち収入積立保険料)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	((—))

(注) 1. 元受正味保険料(含む収入積立保険料)とは、元受保険料から元受解約返戻金及び元受その他返戻金を控除したものであります。(積立型保険の積立保険料を含む)

2. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。

#### ② 正味収入保険料

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同四半 期増減(△) 率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同四半 期増減(△) 率(%)
ペット保険	37,782	100.0	7.5	40,270	100.0	6.6
合計	37,782	100.0	7.5	40,270	100.0	6.6

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。

#### ③ 正味支払保険金

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同四半 期増減(△) 率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年同四半 期増減(△) 率(%)
ペット保険	20,930	100.0	9.1	22,843	100.0	9.1
合計	20,930	100.0	9.1	22,843	100.0	9.1

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。



#### (4) 有価証券関係

企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

##### 1. 満期保有目的の債券

###### I 前連結会計年度(2023年3月31日)

該当ありません。

###### II 当第3四半期連結会計期間(2023年12月31日)

種類	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価 (百万円)	差額(百万円)
公社債			
地方債	1,200	1,209	9
社債	1,900	1,909	9
合計	3,100	3,119	19

##### 2. その他有価証券

###### I 前連結会計年度(2023年3月31日)

種類	取得原価(百万円)	連結貸借対照表計上額 (百万円)	差額(百万円)
株式	631	643	11
その他	15,874	13,701	△2,172
合計	16,505	14,344	△2,161

(注) 市場価格のない株式等及び組合出資金は、上表に含めておりません。

###### II 当第3四半期連結会計期間(2023年12月31日)

種類	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	752	792	40
公社債			
地方債	1,200	1,208	8
社債	1,500	1,501	1
その他	21,765	19,649	△2,116
合計	25,217	23,152	△2,065

(注) 市場価格のない株式等及び組合出資金は、上表に含めておりません。

## (5) ソルベンシー・マージン比率

アニコム損害保険株式会社の「ソルベンシー・マージン比率」については、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2023年3月31日) (百万円)	当第3四半期会計期間末 (2023年12月31日) (百万円)
(A) ソルベンシー・マージン総額	25,719	23,422
資本金又は基金等	21,785	20,500
価格変動準備金	119	140
危険準備金	—	—
異常危険準備金	1,633	1,297
一般貸倒引当金	2	1
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	△2,161	△2,065
土地の含み損益	60	45
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	4,280	3,503
(B) リスクの合計額 $\sqrt{\{(R1 + R2)^2 + (R3 + R4)^2\}} + R5 + R6$	13,785	14,502
一般保険リスク(R1)	13,445	14,119
第三分野保険の保険リスク(R2)	—	—
予定利率リスク(R3)	—	—
資産運用リスク(R4)	1,142	1,425
経営管理リスク(R5)	291	310
巨大災害リスク(R6)	—	—
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率(%) $[(A) / \{(B) \times 1 / 2\}] \times 100$	373.1%	323.0%

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立型保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・この「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」（上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
  - ① 保険引受上の危険：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険  
(一般保険リスク) (巨大災害に係る危険を除く)  
  
(第三分野保険の保険リスク)
  - ② 予定利率上の危険：積立型保険について、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険  
(予定利率リスク)
  - ③ 資産運用上の危険：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等  
(資産運用リスク)
  - ④ 経営管理上の危険：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの  
(経営管理リスク)
  - ⑤ 巨大災害に係る危険：通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険  
(巨大災害リスク)
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、経営の健全性を判断するために活用する客観的な指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。